

## 「胆振東部地震を振り返る地震防災・減災シンポジウム」を YouTubeで配信しました

日本損害保険協会北海道支部(委員長:加川 克仁・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 北海道地域担当 執行役員)は、1月27日(土)に開催した「胆振東部地震を振り返る地震防災・減災シンポジウム」を収録した動画をYouTubeに公開しました。

シンポジウムでは、胆振東部地震を振り返りながら、地震発生時に何に困るのか、被災後にどう生活を守るのか、何を備えておくべきなのかについて学び、どう行動に移していくのかを考えました。

当日の視聴者に行ったアンケートでは、回答者の98%以上が「(シンポジウムの内容について)満足/おおむね満足」と回答し、「これまで、防災・減災や避難所に関する講演会は数多く聴講したが、地震保険などに関する情報は、初めて学ぶことができた」「パネラーの人選が各分野にわたっていてバランスが良かった。興味深い話がたくさんあった。」等の感想が寄せられました。

日本は、全国どこでも地震災害に見舞われる可能性があり、また沿岸部ではどこでも津波災害に見舞われる可能性があります。被害軽減のためには日頃からの備えが重要で、津波からの迅速な避難の徹底などで被害を大幅に軽減することが可能です。ご自身の備えについて考えるきっかけとして、本シンポジウム動画をぜひご活用ください。

### 【シンポジウム動画】

- (1) 主催者挨拶、基調講演①・② <https://youtu.be/j2fHf-l1Bqw>
- (2) パネルディスカッション <https://youtu.be/gIAFNh0rPxs>

### 【プログラム】

- (1) 主催者挨拶 加川 克仁(一般社団法人日本損害保険協会北海道支部委員長)
- (2) 基調講演①「胆振東部地震からの復興プロセス」  
定池 祐季 氏(東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科准教授)  
基調講演②「北海道の地震リスクと考えられる被害」  
阿南 恒明 氏(札幌管区気象台気象防災部 地震情報官)
- (3) パネルディスカッション「暮らしを守る私たちの備えと情報」  
コーディネーター: 山崎 登 氏(国土館大学 教授・元NHK 解説副委員長)  
パネリスト① : 定池 祐季 氏(東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科准教授)  
パネリスト② : 米津 仁司 氏(国土交通省北海道開発局建設部 部長)  
パネリスト③ : 原 祐二 氏(一般社団法人厚真町観光協会事務局長)  
パネリスト④ : 岡本 正 氏(銀座パートナーズ法律事務所 弁護士・博士(法学)・気象予報士・北海道大学公共政策学研究センター上席研究員)  
パネリスト⑤ : 大知 久一(一般社団法人日本損害保険協会専務理事)

### 【当日の視聴者に行ったアンケートの結果(概要)】

当日の視聴者を対象に、自然災害・地震に対する意識や対策の状況、シンポジウムの満足度等に関するアンケートを実施し、当日の視聴者330名のうち234名から回答を得ました(回答率:70.9%)。

アンケートの結果、9割以上の方が地震災害対策を行っているとし、具体的には「食料・飲料・生活必需品の備蓄を準備している」(74.4%)、「地震保険に入っている」(65.8%)「家具の置き方を工夫している」(64.1%)などの回答がありました。

その他、詳細は別紙「シンポジウムアンケート結果」のPDFファイルをご覧ください。

**【関係者】**

主催：一般社団法人日本損害保険協会北海道支部

後援：財務省北海道財務局、国土交通省北海道開発局、北海道、札幌管区气象台、  
北海道新聞、NHK 札幌放送局、北海道損害保険代理業協会

①こちらをご参照ください

・1/27(土)にオンラインで開催！地震防災・減災シンポジウム

～「胆振東部地震から5年」内陸部を含む日本の地震リスクに備える～

[https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokkaido/2023/g3410i0000000hea-att/231214\\_01.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokkaido/2023/g3410i0000000hea-att/231214_01.pdf)

・別紙「シンポジウムアンケート結果」

[https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokkaido/2023/pdf/2403\\_enquete.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokkaido/2023/pdf/2403_enquete.pdf)

以 上